

©Hannu Holopainen



フィンランドらしい森と湖のある光景。人々は湖畔に無垢材を使ったコテージを建て、そこで思い思いの休日過ごす。



モダンな外観をもつ北欧の住宅。自然との調和はもちろん、都会の景観にもマッチしそうなたたずまいである。



無垢材がそのまま室内の壁に。デザイン性の高い家具とも相性がいい。大きな窓は北欧の住宅の特徴で採光に優れる。



北欧の国、フィンランド（正式名称はフィンランド共和国）、北緯60～70度に位置し、そのうち4分の1が北極圏。極寒の地の果てを想像しがちだが、気候は比較的穏やかで、大西洋上で暖められた偏西風が吹き込むこともあり、同緯度の国々より平均約6～10度温暖だ。短いながらも春と秋があり、くっきりとした四季の彩りもある。日本の9割ほどの国土に、約530万人が伸びやかに暮らす。



北欧のライフスタイルに学ぶ住まい



写真提供：visit finland（フィンランド政府観光局）

森と湖の国、フィンランド 大自然と共存する日常

フィンランドは「森と湖の国」と呼ばれる。

国土の約3分の2が森林で覆われ、大小合わせて約18万8000もの湖がたがたずむ。森と湖が織りなす豊かな自然は、フィンランドの文化や人々のライフスタイルに影響を与えてきた。

代表的な例が住宅だろう。フィ

LIFE STYLE CASE FILE-2 (T邸)

ログが奏でる豊かなハーモニー

ロフトに設けた自動演奏ピアノから、高い吹き抜け全体を使って豊かな音が降り注ぐこだわりの空間。無垢材が音の不快成分を吸収し、素晴らしい音響効果が得られる。2階にはホームシアタールームも備え、ベネチアングラスのシャンデリアなど、センスの良いインテリアに囲まれ音と映像を存分に楽しめる。屋外には愛犬のためのドッグランも設置し、家族や友人と充実したウィークエンドを満喫。



LIFE STYLE CASE FILE-1 (Y邸)

自然の風景に映えるモダンな北欧デザイン

日常の良き東側の屋根を高くした片流れの外観が個性的。高いデザイン性と居住性を両立している。リビング・ダイニングには高い位置にもガラス窓を設け、眺めの良さと採光に配慮している。室内に満ちあふれる陽光が心地良い。天然石タイルの床と無垢材が絶妙なバランスを見せる。



LIFE STYLE CASE FILE-3 (I邸)

美しい緑を愛でながら悠々自適に暮らす

玄関からリビングまで巡らされた広いデッキテラスが自然との接点。深い軒下はプライベートテラスともいえる空間で、周囲に広がる緑を愛でながら、ゆったり時を過ごせる。室内はリビング、ダイニング、キッチン、そしてロフトが連続する一体的な空間。断熱性に優れた太いログは、四季を通じて快適な暮らしを提供している。(ランタサルミログハウス)



北欧の部材を厳選した自由設計の高品質住宅「ランタサルミ」

太い無垢材に抱かれることで得られる心地良さ。それがログハウスの他の構法にはない美点だ。「住んでみればその良さを実感していただけると思います」。そう語る専門家が語る。「ランタサルミ」の輸入・販売、全国販売店の設計サポートまで手掛ける株式会社ゲストハウス代表取締役、上田淳氏だ。じつは今回の記事の中で紹介した住宅は全て同社が手掛けたものである。

フィンランド湖水地方に位置する町、ランタサルミ。マシンカットログ発祥の地でもある町名を冠するこのブランドは、フィンランドの優れた木材加工のノウハウをベースに、日本向けにデザイン・加工するという独自のシステムが構築されている。「フィンランドの高品質な木材をさらに当社基準で厳選し、日本国内でデザイン・品質を細かくコントロールしています」。

ランタサルミの魅力は、オーナーの希望や好みに合わせて、プランの自由度や部材の選択にとどまらず、構法までもカスタマイズ可能であることだ。「私たちのものづくりの原点は、住む人それぞれにふさわしいプランを提示すること。ご要望によってはツバイ工法や在来工法によってイメージがかなえられることもある。自由設計がもたらす無垢材の豊かな

住空間を多くの方に楽しんでいただきたいと考えています」。

今、日本の住宅には欧米並みの高い環境性能が求められている。2020年には新築住宅に一定の省エネルギー性能が義務付けられる。同社がその回答として用意した「ランタ・シード」は同社の無垢材による家づくりの知見に加え、断熱性や換気性能など住宅の省エネルギー性能までカスタマイズできる住まいのシリーズだ。木の家が持つ魅力はそのままに、時代の要請に応え、心地良く快適な暮らしを提供し続ける。

大自然の恵みを暮らしに 北欧の自然派住宅を日本へ



ランタサルミモデルハウス

長野県北佐久郡軽井沢町
大字長倉字北原820-19
TEL0267-46-5547
JR軽井沢駅より車で約10分
上信越自動車道・碓氷軽井沢ICより車で約20分
水曜日定休



フィンランドの厳しい気候で育った高品質パイン材を、ランタサルミの提携工場が精密にカット。オーダーを受けてから発注図面に基づき加工されるので要望にも柔軟に対応でき、無駄なコストも抑えられる。



株式会社ゲストハウス
代表取締役
上田 淳 (うへだ あつし)

北海道旭川市出身、千葉工業大学建築学科卒業。1987年一級建築士事務所として独立。2004年よりフィンランドの輸入住宅「ランタサルミ」販売開始。一般社団法人日本ログハウス協会副会長。日本におけるログハウスの普及と、新たなデザイン・構法の開発に取り組んでいる。



- ①ログハウスは音響空間としても優れ、リスニングルームに向いている。
- ②内開き＆内倒しができるドレーキップ窓はトリプルガラス採用で高い断熱性を確保。③分厚いログ材は断熱性、防音性、そして耐火性能にも優れる。
- ④薪ストーブが放射する熱をログが蓄え、暖かさを長時間保ち続ける。写真はソーブトーンを使った同社オリジナル品。⑤フィンランドといえばサウナ。人々が語り合う憩いの場だ。

一級建築士事務所 株式会社ゲストハウス
TEL: 03-5282-3422 E-MAIL: info@gh-archi.com
ホームページ URL: <http://rantasalmi.jp/>



冬に氷結する湖は、天然のスケートリンクに早変わりする。

サウナの後は湖水にダイブ！フィンランド人なら誰もが経験済み。

裸の付き合い。体を叩くヴィヒタ（白樺の小枝）も必需品。近くの森から摘んでおく。

フィンランドといえばサウナ。湖水地方では湖畔に立つサウナ小屋がよく見られる。

LIFE STYLE CASE FILE-5 (V邸) 省エネ時代を先取りした 北欧デザイン

新築住宅の省エネ性能義務化にいち早く対応した住まい。建築地の気候に合わせて十分な断熱を施し、トリプルガラスの木製建具や地中熱を利用した換気システムなどを完備している。吹き抜けの開放感、塗り壁と板貼りの床・天井のコントラストが美しい。



たマスプロダクションとは違う価値を提示してくれる。それは金銭的な対価だけでは得ることができない本物の豊かな暮らし。現代を生きる人々にとって、これほど贅沢なことはいないかもしれない。

こうした価値観に共鳴する人々が日本にも確実に増えている。優れた木材加工技術によって建てられる現代のマシンカットログハウスは、精度の高いうえに見た目にスマートであり、モダンなデザインともよく調和する。日常生活を快適に過ごす住宅としてふさわしいことも広く認知されつつあるようだ。無垢材の魅力を引き出す、新たな住宅デザインの開発も進められている。自然と共存するシンプルな北欧のライフスタイルに学ぶべきことは多い。

LIFE STYLE CASE FILE-4 (N邸) 自然素材でナチュラルな 風合いを演出

高品質なフィンランド産パイン材を使用した外壁、無垢材の魅力を生かした室内空間など、北欧デザインらしい木の家の魅力を感じさせながら、断熱性と耐久性に優れた部材をコーディネートすることで、寒冷地でも快適に暮らせる仕様としている。

